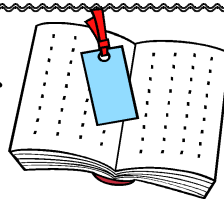


学力向上 だより



平成26年10月15日

榛沢小学校

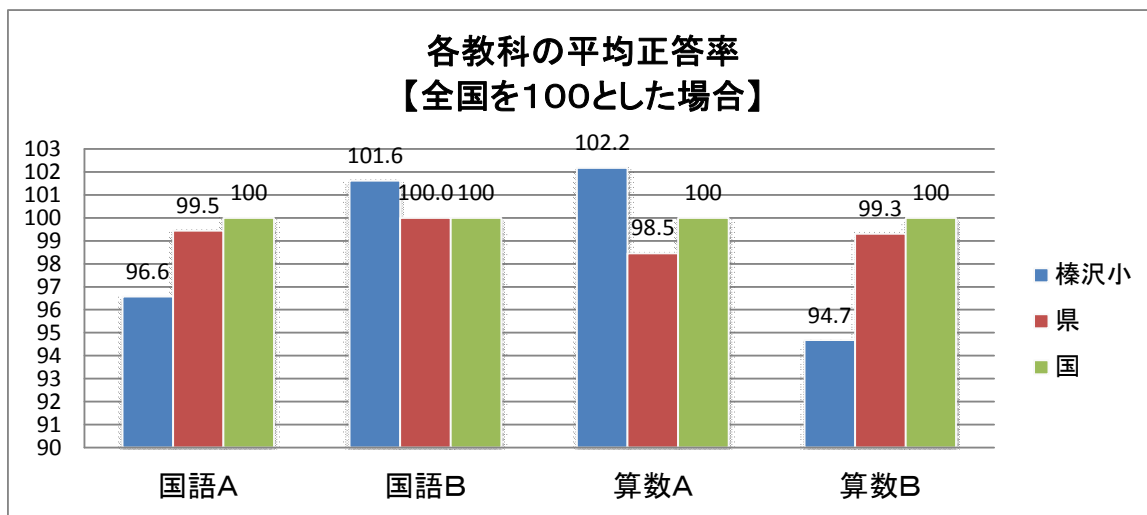
平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果(榛沢小学校)

平均正答率

4月22日 6年生が実施
Aは基礎問題 Bは応用問題

全国の正答率を100としたときの指数

年度		国語A	国語B	算数A	算数B
H26	榛沢小	96.6	101.6	102.2	94.7
	県	99.5	100.0	98.5	99.3
	国	100	100	100	100



質問紙調査より

※質問事項は74項目からの抜粋

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値
(単位 %)

	質問事項	榛沢小	県	国
生活習慣	・毎日朝食を食べている	100.0	97.2	96.0
	・毎日、同じくらいの時刻に寝ている	88.0	83.6	79.2
	・毎日、同じくらいの時刻に起きている	100.0	92.9	90.9
	・学校のきまり(規則)を守っている	100.0	93.1	90.5
学習習慣	・家で自分で計画を立てて勉強している	88.0	65.1	61.0
	・家で学校の宿題をしている	100.0	97.5	96.5
	・家で、学校の授業の予習をしている	88.0	48.8	43.2
	・家で、学校の授業の復習をしている	92.0	58.3	54.0

教科への関心	・国語の勉強は好きだ	84.0	61.0	59.2
	・国語の授業で学習したことは、将来、役に立つ	92.0	90.2	87.4
	・算数(数学)の勉強は好きだ	84.0	66.1	66.1
	・算数(数学)の授業で学習したことは、将来、役に立つ	100.0	91.3	89.0
その他	・将来の夢や目標をもっている	92.0	88.5	86.7
	・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う	100.0	95.6	94.4
	・人の役に立つ人間になりたいと思う	96.0	95.0	94.0
	・今住んでいる地域の行事に参加している	80.0	67.1	68.0

榛沢小の「よかった点(◎)」と「課題(☆)」

【国語】

- ◎新聞の投書を読み、表現の仕方をとらえる問題で、県・国の正答率を上回っています。
- ◎複数の事柄を並列の関係で書く問題で、県・国の正答率を大きく上回っています。
- ◎二つの詩を比べて読み、表現の工夫をとらえる問題で、県・国の正答率を上回っています。
- ☆漢字を正しく読んだり書いたりする問題では、正答率が低くなっています。
- ☆ことわざの意味と使い方を理解する問題では、正答率が低くなっています。
- ☆質問のねらいとして適切なものを選ぶ問題では、かなり正答率が低くなっています。

【算数】

- ◎小数や分数を含めた加減乗除の計算では、県・国の正答率をやや上回っています。
- ◎単位量あたりの大きさを求める問題では、県・国の正答率を大きく上回っています。
- ☆示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述する問題で正答率が低くなっています。
- ☆事象の中から規則性を読み取り、示された数量の関係を数学的に表現する問題で、正答率が低くなっています。

【質問紙】

- ◎毎日朝食を食べ、決まりを守って規則正しく生活している児童が多いです。
- ◎家で、学校の授業の予習復習をしている児童の割合が、県・国を大きく上回っています。
- ◎地域の行事に参加している児童も多いです。

課題への取組・改善策

【国語】

- 授業の中で一斉音読を取り入れ、どの子も声を出してすらすら読めるようにします。
- 漢字ドリル等を使い、漢字の読み書きを繰り返し練習させます。学期末には学年配当漢字の100題テストを行います。
- 作文力を高めるために、全校朝会の校長講話の聞き取り作文をします。
- 全校暗誦(月ごとに取り組む詩を決め、暗誦したら校長先生に聞いてもらい合格印をもらう。)
- 読書月間を年3回設け、本に親しむようにします。

【算数】

- 前時の振り返りを大切にし、わかっていることや尋ねていること、答えの単位などをきちんと押さえた授業をします。
- なぜその式になるのか、どうしてその答えになるのか、自分の考えを書いたり発表したりする活動を多く取り入れます。
- 計算ドリル・プリント等を使い、練習問題を繰り返し学習します。

【その他】

- ウィークエンドチャレンジとして金曜日に計算や漢字言葉のプリントを宿題に出し、家庭学習の習慣化を図ります。
- 家庭学習の時間は、学年×10分を目安に時間を決めて取り組ませます。
- 「早寝、早起き、朝ご飯」など、家庭での生活習慣のさらなる徹底を図ります。